

まだまだ暑さが続く時期ですが、北海道も例年より湿気が多い毎日です。

今回は前回行った時には、時間がなく行けなかった世界遺産知床国立公園の知床五湖へ再チャレンジしました。こちらのエリアは知床に生息する熊の6割が生活している危険な場所ですが、このエリアに五つの美しい湖があり、ここを散策しながら湖を巡ります。

1つ目の湖へは高さ2m位の高架遊歩道が作られていますので誰でも自由に行けます。残る4つの湖に行くのには地上遊歩道を歩きますが、ヒグマに出会う確率が30%近いのでこちらへ行くには当日15分程のレクチャーを受けて専属ガイドの引率が必要です。ガイドさん引率の為、有料となります。

私もレクチャーを受け出発となりましたが、残念な事に小雨模様でしたのでカップを着ての散策となりました。途中途中でガイドさんが色々な事を教えてくれ、「この木を見て下さい。上の方に爪の痕が見えるでしょ、ヒグマが木の実を取るのに上った後ですよ」とか、「あちらの茂みを見て下さい」と言われ見るとキタキツネの子供がいました。さすがガイドさんはポイントをご存じなので楽しみ沢山の散策となり、大満足でした。

ちなみにヒグマは実は草食動物だそうです。ガイドさんの説明でした。

札幌営業所(所長:利川 光浩)

『かべちよろ』ってご存知ですか。

以前に社内なかべちよろがいるよって言っても伝わらなかったの、個人的にはおかしいなという感想でした。いわゆるヤモリのことなんですが、この『かべちよろ』が方言とは知らずにいたので少しばかり恥ずかしい思いをいたしました。

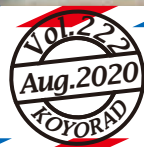
私の出身地の福岡の方言なのですが、福岡ではヤモリって言わないですし、この呼び方って結構かわいい方言だと思いませんか。

もしよろしければ、この先ヤモリを見かけたときには「あ！かべちよろ」って言ってやってください。きつと振り向くはずですよ。って、そんなわけないか。

東日本物流センター 東日本営業本部(センター長:木下 敦裕)

KOYORAD

世界の拠点から
-From the base in the world-



~40kmはラクラク~

KHE蘇州工場の駐輪場に数十台ずらりと並ぶのは一見すると原付バイク。でもこれは全部、電動自転車なんです。こちらでは『電瓶車』、『電動車』などと呼ばれ市民の『足』として街中のいたる所で見られます。外観はまさに日本の原付そのもの。初めて中国を訪れた方は説明を聞いてしばしば驚かれることがあります。

中国では一応16歳以上とされているそうですが、誰でも買って乗ることができます。しかも車両登録こそ必要ですが、免許証は不要なのでまさに自転車感覚のお手軽な乗り物なわけです。ガソリンを使わない点は先進的で環境にも優しく、渋滞知らずで便利なのですが、日本の電動アシスト自転車と違い、スロットルを回せば40km/hはラクラク出てしまいます。一回の充電で40~50kmの走行が可能です。近年は台数の増加に伴い、ヘルメット着用が義務化されました。とは言え、やはり無免許で乗ってしまうことが交通事故多発の根本的な原因で、性能上の速度規制も厳格化されつつあります。

日本円で3万円台から買える便利な電動自転車は日本でもきつと売れる?そこは交通法規も違うので簡単には行きませんね。KHEでも通勤にたくさんの方が利用しているため、事故のないよう安全第一で運転してほしいと思います。もちろんヘルメットは必ず着用で。



KHE(中国・蘇州)(総経理:山本 博史)

皆様いかがお過ごしでしょうか。

今回は名古屋市中区にある古渡城址を紹介いたします。

コーヨーラド本社のほど近くにある、浄土真宗大谷派東本願寺別院(東別院)が、その古渡城址になります。(東別院という地下鉄の駅のすぐそばです...)

ここは織田信長の父、信秀が絶頂期に拠点としていた城で、信長が元服した場所ともいわれています。

信秀の時代には東海道はまだなく、主要街道は鎌倉街道だったらしく、この古渡城の南側を東西に鎌倉街道が通っていたと考えられています。岡崎城や斎藤道三の美濃へ信秀が出陣する上で最適な場所だったようです。またかつては精進川という川も流れていて、川を船で下れば、熱田またその先は伊勢湾へと出ていくことが可能だったようです。この古渡という場所が、出陣だけでなく物流面でも便利な場所だったということになります。

古渡城は東西140m、南北100mの規模で2重のお堀があったようです。現在ある東別院は桶狭間の戦いから130年後にこの場所にできていますが、城址碑が敷地内の南西角に立っています。本社の近くに歴史を感じさせる城址があるとは、今まで知りませんでした。

名古屋営業所(所長:高橋 鉄夫)

梅雨が明け暑くなりましたが、コロナの影響で中々普通の生活に戻れませんね。私もお盆の帰省は断念しました。

さて、今回は大阪営業所でのコロナ対策の一部をご紹介します。従業員のマスク、換気、手洗い&消毒、密を避ける屋食の取り方等をっております。私も忘れない様にはしますが、消毒に関しては何回かに1回はついうっかり..と忘れてしまう事もあります。

そこで事務所入り口やトイレの手洗い場などにはポスターを掲示してうっかり防止をしています。手洗い場があると絶対目に入るので手洗いも入念に行う様になりましたね。私生活でもマスクが当たり前ですし、公共交通機関もなるべく使わない様にしています。

当分は新しい生活様式が続くと思いますが、コロナが終息してマスク無しで歩ける日が早く来る事を願うばかりです。

大阪営業所(所長:藤谷 弘行)

梅雨が明けたとたん、暑い日々が続いていますが皆様いかがお過ごしでしょうか。今年は梅雨が長かっただけに、より忙しい日が続いてくれることを切に願いたい今日この頃です。仕事が忙しくなることはもちろんですが、体調を崩さないようお気を付けください。

さて、自粛生活を未だ継続中のため、今回は昨年夏に行った釣りのことを書きたいと思います。博多湾の夏といえば、やっぱり『太刀魚』！刺身はもちろんですが、塩焼き、蒲焼き、唐揚げ、煮つけとどんな味付けをしても最高な魚です(見た目はグロテスクですが・・・)。釣り方も簡単で、ジグと呼ばれる疑似餌を海底まで落としてあとは巻くだけです。これで爆釣となれば何も言うことはないのですが、簡単な釣りでもこれがまた意外に難しく、考えて釣りをすることが苦手な私はいっちゃん釣りきらんのです。周りが釣れても私だけ釣りきらんのです(博多弁ですみません汗)。しかも夏です。暑いんです。だんだんと陽が昇るにつれ、頭がぼーっとしてくるんです。しかも朝の5時から11時までの6時間、太陽の光を遮る場所は一切ありません。ある意味修行です。好きでなかったら絶対にしたくはないです。

と、話が少し脱線しましたが、去年は数回太刀魚釣りに行っていました。坊主で帰る日もあれば、そこそこ釣れた日もあったような気がします。今年は自粛生活。はやくコロナも収束して欲しいと願うばかりです。

福岡営業所・沖縄配送センター(所長:江頭 慎司)

新型コロナのせいでインドネシアの経済成長率は-5%以上とされています。成長率がマイナスということは、景気後退と同じ意味合いと言っても過言ではないです。失業率が増えています。政府のデータによると2019年の失業率は5%以上、新型コロナのせいで何と現在9%以上(約1000万人以上)とされています。

経済不況の中に何とかアイデアを出して商売に頑張っている若者たちがいます。その一つの例として、店舗を借りてオンラインで宣伝し、興味がある人にその店内に物を置いて値段を決めて売ってもらうということをしています。店舗だけを用意して、色んな人たちから委託販売してもらいます。そのために月にレンタル費用を決め、売れた商品の何%かを店に払ってもらいます。

私の2番目の子供がそのような商売を始めました。店の名前は2020年の意味合いをかりてZOZOという店名を付けています。オープンしたばかりで成功するかどうかわかりませんが、やるだけやってみたいと彼女は言っていました。不況の中で新商売を開拓し、成功すれば、今度経済が回復したとき今の商売がもっともって成長する可能性は高いと彼女は言っています。

確かに今のスマートフォンやインターネットの時代にコミュニケーション、宣伝の便利さもあり商売を始めるきっかけになりやすい状況です。

KJI(インドネシア)(工場長:S.Akhyar)

第2波の到来???最近日本での感染拡大のニュースを耳にします。

ここアメリカは、第2波が来る前に最悪の状態に戻ってしまっている様です。感染者の増加のペースは毎日8万人前後と増え続け、おさまる傾向はありません。死亡者数も遂に15万人を超えてしまいました。我々のいるカリフォルニア州は人口が多いとは言え、ついにニューヨーク州を抜いて全米で一番感染者が多い州となってしまいました。

先回はマスクの話を少しご紹介しましたが、ついにあのトランプ大統領もマスクの重要性を認め、自身も着用し始めました。今ではソーシャルディスタンスの必要性を訴えています。

市場調査会社が先日(6/29-7/5)、18歳以上の米国人を対象に行った

マスク使用の調査結果を以下の通りご紹介いたします。全体72%が「いつもマスクを着用する」または「たいていマスクを着用する」と答えたグループ別では

女性 81% VS 男性 63%
民主党支持者 94% VS 共和党支持者 46%

一部の政治家がマスク着用の義務化を政治目的で拒否し(自由を重視)その結果として感染拡大が止まらないという報道もあります。最近の調査では全体で86%が外出する際はマスクを着用すると答えています。

各州でそれぞれのガイドラインを設定し感染予防対策を取っていますが、やはりワクチン以外の解決方法は無いとつくづく感じています。

KCS(アメリカ)(COO:板垣 仁志)

どこでもローンシステムとして、銀行システムなどの合法的なビジネスと闇市場ビジネスなどの非合法的なシステムがあります。

非合法的なものはリスクが高く、金利が高いと想定されます。ほとんどの場合、担保は必要ありません。

アジア先進国の1つであるシンガポールは、低金利(年間推定2%)の効率的な銀行システムを備えています。担保なしで現金を必要とする人々にローンを提供する非合法ビジネスが数多くあります。このようなローンは、通常、高金利です。私は毎月4%の超高額ローンを提供するCashMartと呼ばれる合法的なビジネスを見つけました。これは合法的なローン会社でありながら、すごい金利が高く驚きです。誰がそのような融資をするのだらうと思いますが、もしその融資をするなら絶望的な状況なのでしょう。私は気の毒に思います。

ローンは、成長しているビジネスへの資金提供、可能性のある不動産の購入など、賢明に使用されている限り、プラスだと思います。ブランド品の購入などに使用された場合、非常にマイナスになります。

KIO(シンガポール)(E.Wong)

～リンブルフ州の泥炭風景～

ヨーロッパでのコロナの状況により、コロナウイルスが再燃する恐れがあるため、多くのオランダ人が自国で夏休みを過ごしています。

感染者数は増加しており、ヨーロッパの国々では、コードオレンジが表示され、政府は国外に出ないように警告しています。そのため、夏休みは家族と一緒に過ごしました。

今回は、オランダ最南端のリンブルフ州に行きました。この州は泥炭風景でよく知られています。滞在中、私たちはこの風景と、泥炭採掘によって形成された大きな回廊がある洞窟を訪れました。これは、240km以上の回廊がたくさんある地下迷路です。この迷路とその洞窟を鑑賞することができます。このツアーは、一人だと迷ってしまうのでガイド同行が重要です。これらの泥炭洞窟には多くの古い秘密があり、その州の多くの人々が様々な方法で脱出し、地上の不安からそこに避難したりします。また、気温が30℃～36℃と高温だったので、中に入る間クールダウンできました。

KIO(オランダ)(Jan van Mier)